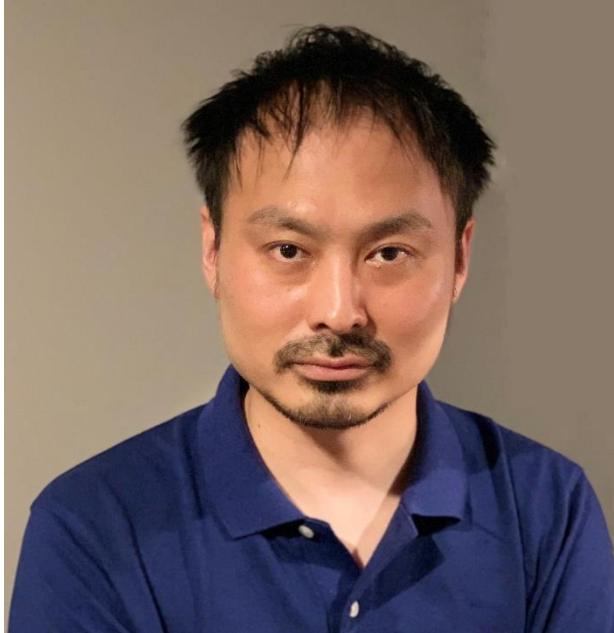


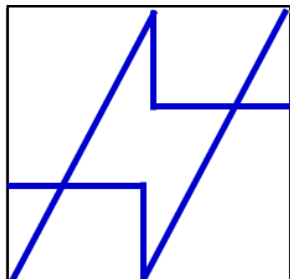
## 医療関連



登壇者名 泉 尚文

役職 代表取締役

連絡先 [info\\_al@armoliberta.com](mailto:info_al@armoliberta.com)



## 株式会社アルモ・リベルタ

設立 (西暦)	2018年11月5日
本社所在地	富山県下新川郡入善町入膳815
会社HP	<a href="https://www.armoliberta.com/">https://www.armoliberta.com/</a>
事業プラン名	リハビリテック事業
事業プラン概要	<p>『ハンデを持つ本人とその家族の誰もが日々のリハビリの負担を軽減し、高品質なリハビリを受けられる世の中を実現する』</p> <p>&lt;背景&gt; リハビリを必要とする人は多い(約430万人) 増加の一途をたどる医療費抑制のオプションとして在宅ケアを進める流れもあり、在宅でのリハビリは一層重要になる。また、根拠に基づく医療(Evidence-Based Medicine: EBM)が欠かせないが、EBMに最も重要な定量的なデータ蓄積が行えていない。 現在のリハビリは労働集約的であるものの、人口減少・高齢化を踏まえその担い手の確保は課題。特に地方部では顕著である。このままの流れでは、リハビリを行う側の負担が増えるばかりか、受け手も十分なリハビリを受けられなくなる可能性もありうる。 一方、機会としては技術革新に伴い細かな症例に合わせたツール・Webサービス開発へのハードルは以前よりも大きく低下している。</p> <p>&lt;目指す姿&gt; 人口減少の中、これまでは10人で行っていた仕事を6人で行う必要が出てくる。そのような状況下でも、IoTサービスの提供を通じて、あらゆる人がリハビリの負担から解放され、質の高いリハビリを受けられる世の中を実現する。</p>
福島/本プログラム にかける想い	<p>自分の子供が脳性麻痺になり、医療的ケア児の世界を知りました。この領域のモノの無さ、不便さを痛感して、ないのであれば、自分が作ればいい！ そして、リハビリが必要な方の実情を多くの方に知っていただきたい。</p>
イベントにご参加 いただく方への一言	<p>自分の子供だけではなく、同じ境遇の方がよりよい環境で過ごせるようにソフトウェアとハードウェアの融合を進めてまいります。</p>

# リハビリテック事業

株式会社アルモ・リベルタ



A.リハビリ  
支援クッション  
「ARCA」  
(アルカ)



B.リハビリ記録  
管理アプリ  
「リハビリノート」

 リハビリノート

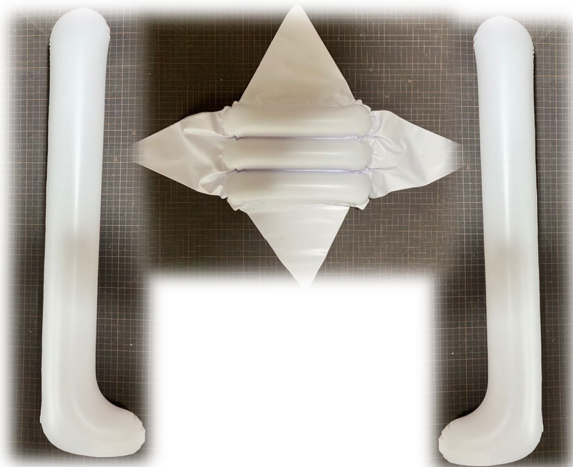


全国の障害者→436万人

肢体不自由→193万人

20歳未満→7.8万人

# A.リハビリ支援クッション「ARCA」実証



# B.リハビリ記録管理アプリ「リハビリノート」



### リハビリノート

← 戻る

氏名とメールアドレス

氏名  
泉 尚文

メールアドレス  
naofumi.izumi@armoliberta.com

変更を保存する

パスワードの変更

パスワード  
パスワードを入力してください

パスワード確認  
もう一度パスワードを入力してください

### リハビリノート

日別の一覧 ※現状本項目のみ

2020/12/24  
脈拍 128 回/分  
呼吸 36 回/分  
SpO2 98 %

2020/12/23  
脈拍 134 回/分  
呼吸 30 回/分  
SpO2 98 %

2020/12/17  
脈拍 117 回/分  
呼吸 30 回/分  
SpO2 98 %

### リハビリノート

日時 2020-12-24



項目

名称 脈拍

単位 128 回/分

名称 呼吸





自宅介護に困っている人に・・・

これまでより簡単にリハビリができる実感を!

労働時間の確保・・・

短時間でも親が働ける環境を!

医療機関へ頻繁に通えない人に・・・

専門家よりフィードバックをいただき、  
よりよい医療サービスの提供できる環境づくり



- ・ 協力していただける医療機関
  - ・ 柔軟な対応をいただける機関
  
- ・ 協力していただける利用家庭
  - ・ 利用シーンを提案してくれるような強い課題意識

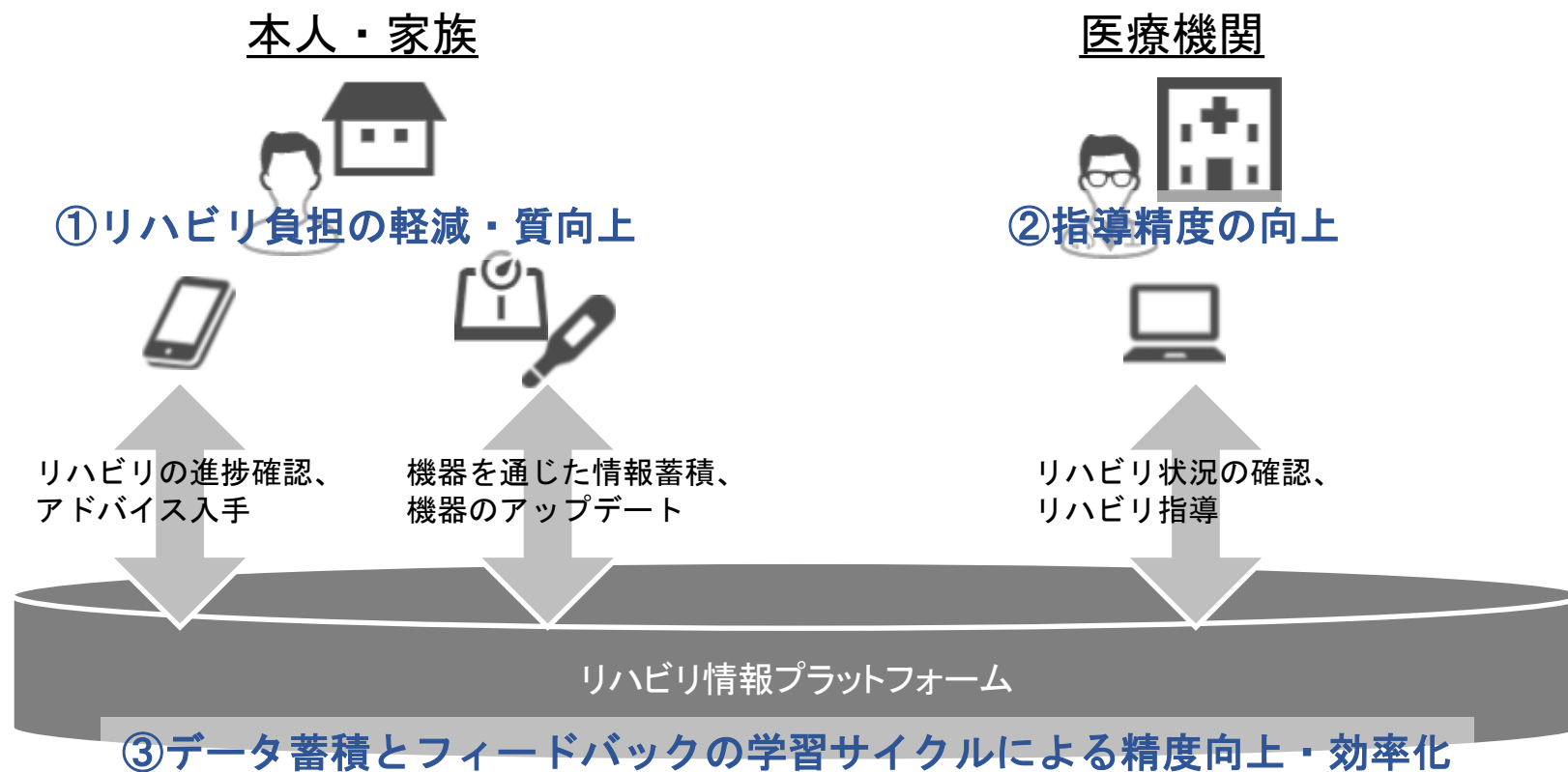
次のページより詳細となります。



# リハビリテック事業概要



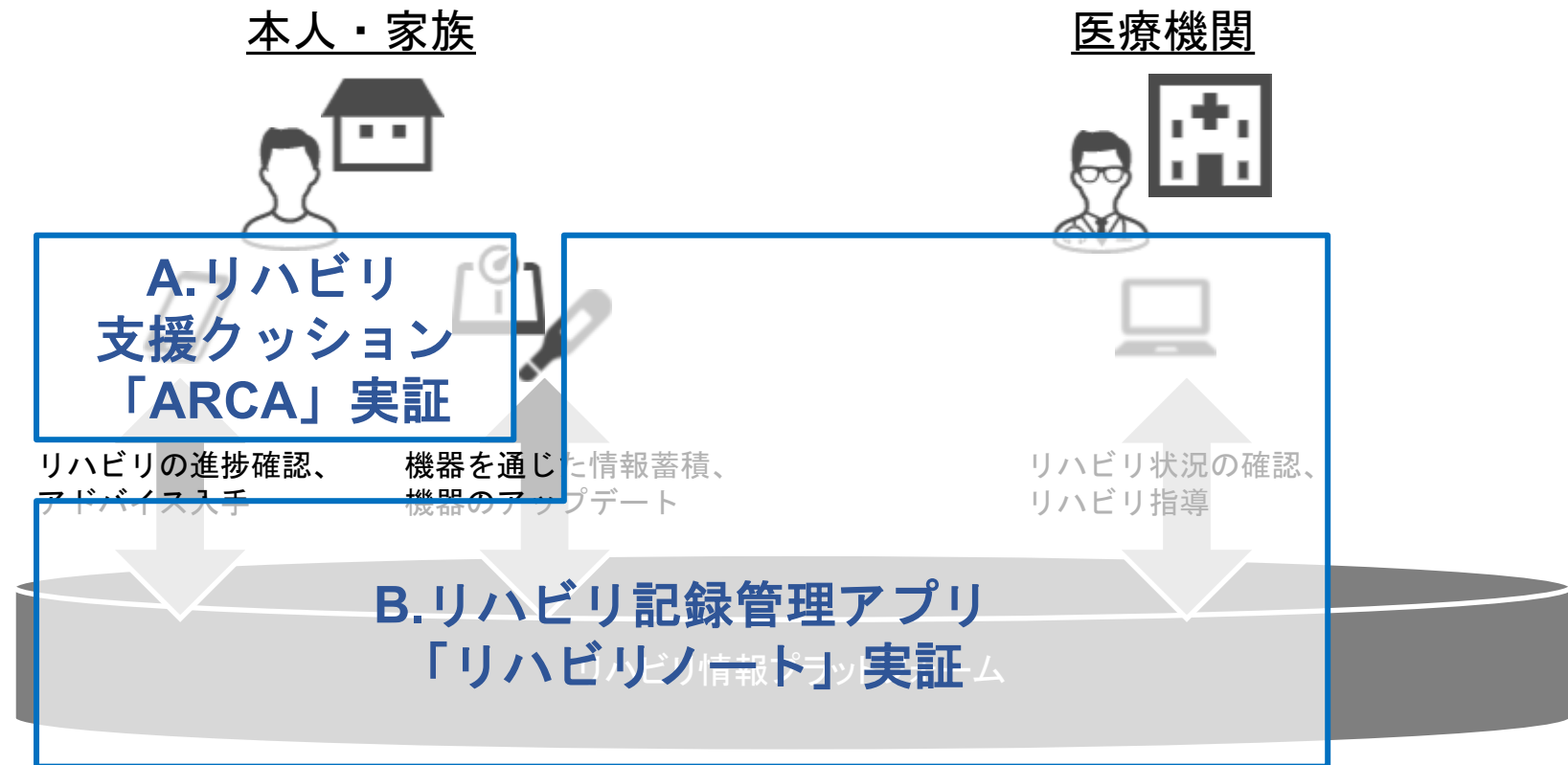
IoTを活用してリハビリに係る負担の低減と質の向上を同時に実現します



# プログラムでの取り組み概要



IoTを活用してリハビリに係る負担の低減と質の向上を同時に実現します





A.リハビリ  
支援クッション  
「ARCA」  
(アルカ)

週一の病院通いでは全く足りないリハビリを、家で実現  
これまで苦勞した姿勢保持がすごく簡単に  
リハビリの改善から、確実な健康体化への進捗

B.リハビリ記録  
管理アプリ  
「リハビリノート」

<低価格>  
月額使用料は千円未満で気軽に導入

<リハビリ負担の軽減>  
人的リハビリからツールを用いたリハビリへの移行促進  
やり方のノウハウ補填による分担作業のハードル低下

<リハビリの質向上>  
モニタリングに基づくリハビリ計画の精度向上  
専門家との情報共有を通じた適切なリハビリ手法選択

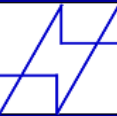
ハンデを持つお子様を含めた家族の幸せを創出する



## ARCA概要

- 対象者  
障害等により姿勢維持が困難な子供
- 利用効果  
安楽姿勢の継続  
姿勢の安定  
呼吸数の減少  
安静時における胸郭全体の動きの拡大

# B.リハビリ記録管理アプリ「リハビリノート」



	Step.0 β版展開	Step.1 本格展開	Step.2 機能拡充	Step.3 PF化
目的	MVP を用いた必要機能・ニーズ の確認	プロダクトの認知と顧客基 盤の確立	顧客囲い込み	リハビリ情報のPFとしての 確固たる基盤確立
提供先	限定的な家庭	全国の家	全国の家、医療機関	—
価格	無料提供	月額XXXX円で提供	家庭向け⇒月額XXX円 医療⇒用途による見積	家庭向け⇒月額XXX円 医療⇒用途による見積
提供 サービス	記録管理 (3項目) 医療機関への共有 (1施設)	有料版⇒記録管理項目の 増加、医療機関共有制約解 除、医療機関との双方向 OK 無料版⇒β版と同様の機能 )	・症例等をベースに使い勝 手向上 ・医療機関と連携し特定医 療機関向けの特別連携サ ービス等を付加	Step.2の内容に加え、近所 のリハビリ機関や関連ニュー ースの提供、 リハビリ機器・サービス提供 者にむけ広告サービスを提 供
マーケット	知人・関係者経由	モデルとなる医療機関での 利用実例を訴求。 知合いの医療機関経由、 SNSを通じて顧客へ周知	—	—



## ノート概要



- 対象者  
限定的な家庭のリハビリが必要な方
- 利用効果  
スマホで日々のリハビリ情報を記録に残せる  
記録した情報は医療機関とも連携可能  
記録された情報を基にリハビリ方法の改善や、  
リハビリ計画に対するアドバイスを受けられる